

4 食の情報発信とネットワークづくり

(1) 食育の普及・啓発

現状と課題

食についてのさまざまな情報が発信され、同時に市民の食への関心は高まりを見せており、アンケート調査では、食育に関心のある市民は約8割となっています。しかし、食への関心が高まる一方で、関心を持っていない人や、食育の意味を知らない人もいます。大人の関心度の差は、自分で食事を管理する力が育っていない子どもに影響し、子どもの食習慣から健康へと波及します。

このため、一人ひとりが食に関する正しい知識を身に付けられるよう、正しく、わかりやすい情報を提供するとともに、関心のない人にも情報が伝わるよう、食品購入の機会や碧南市健康づくり食生活改善推進員、碧南市食育推進ボランティアの活動などを有効に活用し、個々の生活の中で取り組める食育を啓発する必要があります。

施策の方向

食育を普及するため、パンフレット等を活用した情報提供の充実に努めるとともに、関連事業を通じての普及啓発を推進します。

地域や園・小中学校・事業者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

食育に関する情報提供の充実

- ・商店街など地域の組織力を活かし、食育について取り組む機会をつくれます。
- ・保育園、幼稚園、学校での取り組みを家庭に発信します。
- ・行政と協力して、健康推進の啓発や地域活動のPRをします。

行政.....

食育に関する情報提供の充実

- ・さまざまな場面で食育についての情報を提供します。

具体的な取り組み内容	対 象	取り組み主体 (担当課)
・ 保育園での食育の取り組みや食育情報を「食生活だより」を通して家庭に発信	園児や保護者	児童課 保育園
・ 食育をキーワードにした教室や栄養指導を通しての啓発	市民	健康課
・ 農業についての授業 ・ 食育に関連したチラシ・パンフレットの配布 ・ 総合的な学習の時間でのじゃがいもや人参の栽培 ・ 社会科、家庭科、生活科、総合的な学習時間での食育の授業	児童・生徒	庶務課 学校給食センター

- ・ ワークショップや料理教室などで、食した感想を交換するなどし、関心を高める工夫をします。
- ・ 保育園、幼稚園、学校などには、継続的に食育への取り組みについての働きかけを行います。
- ・ 市のイベントなどで、関心を高められる参加型の催し物などを実施します。

具体的な取り組み内容	対 象	取り組み主体 (担当課)
・ ふれあいフェスティバルでの食育推進PR	市民	農務課

- ・ キャラクターやホームページを活用し、食育についてPRします。

食育取り組み事例

ふれあいフェスティバルでの食育推進PR（農務課）

食育を推進するため、市民ふれあいフェスティバルで食育推進PRを行っています。平成20年度は大豆や小豆など合計18粒を1分間で箸を使って別の容器に移せるか体験してもらった『じょうずに箸が使えるかな?』を行いました。



『じょうずに箸が使えるかな?』

(2) 食育に関わる人材の育成

現状と課題

市民一人ひとりの主体的な取り組みがより効果的なものとなるよう、その取り組みを支援する人材の育成が必要です。

施策の方向

食育は、市民一人ひとりが自ら健全な食生活を実践することが重要です。各種関係機関や食育に係るボランティア等が密接に連携・協力しつつ一体となって食育を推進するため、身近な地域で食育を推進する人材を育成し、その活動を支援していきます。

地域や園・小中学校・事業者.....

食に関わる人材育成及び関係団体活動の推進

- ・食に関する地域活動団体に参加します。

行政.....

食に関わる人材の育成

- ・碧南市健康づくり食生活改善協議会の活動を支援します。

具体的な取り組み内容	対象	取り組み主体 (担当課)
・碧南市健康づくり食生活改善協議会の活動支援	市民	健康課

- ・食育推進ボランティアの登録を推進します。

関係団体への支援

- ・食に関する地域活動団体へ支援を図ります。

具体的な取り組み内容	対 象	取り組み主体 (担当課)
・農村女性グループの活動支援	市民	農務課

食育取り組み事例

農村女性グループの活動支援（農務課）

地産地消推進を目的とした料理講習会に対して助成を行っています。あおいパークでの料理講習会では、新鮮な野菜を産直で買い、そのまま料理に使えるので地産地消の実践に役立っています。



『料理講習会』

(3) 食育におけるネットワークづくり

現状と課題

家庭の教育力や地域力が低下していると言われている現在において、食育を推進する上では、行政、家庭、学校、地域、事業者などといった組織の連携は非常に重要です。

施策の方向

この計画を実現するためには、さまざまな分野の関係者間で連携を図り、それぞれの特性を活かして食育の推進に取り組むことが重要です。行政だけでなく、家庭はもちろん、保育園、幼稚園、学校、食の生産、流通、販売等の関係機関、地域活動団体等が協働し、食育を推進していく仕組みを整備します。

地域や園・小中学校・事業者.....

食に関わる機関・団体の連携

- ・農商工連携により地産地消を推進します。
- ・関係者の情報交換や連携により食育を推進します。

行政.....

食に関わる機関・団体の連携

- ・さまざまな分野の関係者間で連携を図り、行政だけでなく、家庭はもちろん、保育園、幼稚園、学校、食の生産、流通、販売等の関係機関、地域活動団体等が協働し、食育を推進していく仕組みを整備します。

具体的な取り組み内容	対 象	取り組み主体 (担当課)
・農業、商業、工業との連携	関係団体	関係課
・地元農家とのネットワーク	市民	関係課

食育取り組み事例

日進小学校での人参作り体験



平成20年度は日進小学校の4年生が碧南の特産である人参についての学習の一環として、JAあいち中央碧南人参部会の協力により、人参作りを体験しました。

9月上旬に種をまき、芽が出るまで毎日水をまき、10月中旬に土飛ばし、間引きをし、手で虫を取り、消毒し、2月に収穫ができました。プロの農家ができるようなものはできませんが、自分たちの手で種をまき、水をやり、収穫した人参はおいしく、普通ではできないような体験ができました。

農商工連携に係る意見交換会



農商工連携の第一歩として、JAあいち中央碧南人参部会と商工関係者が集まり、意見交換会を行いました。碧南の特産物を使った商品作りや、農産物の活用についてなど、色々な意見が出されました。今後継続して農商工の連携を進めていくこととなりました。